

ふるさとキャリア教育に関する系統的な取組の推進について (案)

鳥取県における「ふるさとキャリア教育」のめざす人間像

1. ふるさと鳥取に根差して、グローバルな視点で考え行動することができる人材
2. 鳥取県に誇りと愛着を持ち、ふるさと鳥取をさらに継承・発展させようとする意欲や態度を身につけた人材
3. 社会の変化に対応しながら新たな価値を創造することができる人材
4. 自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたるふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる人材

学 校

連携・協働

保護者・地域・社会

◇幼児教育施設 (幼稚園・保育所・認定こども園等)

【0歳から就学前】

○地域の特色を生かした遊び

○身近な自然や文化・伝統に親しむ遊び

ふるさと教育の視点

◇小学校及び特別支援学校小学校部

【1、2年生】

○生活科

【3、4年生】

○社会科

【実践例】「学校のまわり」「水はどこから」

○特別の教科 道徳

○総合的な学習の時間

○特別活動 (学校行事等)、土曜授業等

【5、6年生】

○社会科

【実践例】「情報産業とわたしたちのくらし」「自然災害を防ぐ」

「わたしたちのくらしと政治」

○特別の教科 道徳

○総合的な学習の時間

○特別活動 (学校行事等)、土曜授業等

愛着をもつ

自分の住む地域のすばらしさと魅力を知ること

鳥取県について体験的

に学ぶことで、ふるさと

の魅力を養い、自分の

できることを考える

考える

行動する

地域社会や地元企業に対する

理解を深める中で、自己の生

き方を考えるとともに、ふる

さとを養うために自分

にできることを考へ行動する

◇地域等と子どもつながり

- ▶ 子どもが、地域の大人の多様な価値観に触れる取組や多様な体験活動を通じて、地域に対する興味・関心、愛着をもつ
- ▶ 地域や大人が、地域の学校や子どもに対する関心をもつ

【学校で】

- 郷土学習・ふるさと学習・地域の自然を学ぶ学習・キャリア教育 (地域での職場体験)
- 体験活動 (高齢者施設でのボランティア体験、自然体験等)
- 学校支援 (花壇整備、登下校見守り、あいさつ運動、読み聞かせ等)

【地域で (公民館・子ども会等)】

- 地域行事への児童・生徒の参加・企画 (まつり、運動会、防災訓練等)
- 伝統文化・芸能の継承・保存
- 体験活動 (キャンプ・職場体験・各種教室等)
- リーダーとなる子どもの育成 (県子ども会育成連絡協議会主催のジュニアリーダー研修、公民館主催のリーダー研修等)
- まちづくりへの参画 (地域課題解決学習、防災マップ作成、地域の特産品づくり等)

【新】「鳥取第3リヨク発見！親子でおいごと体験ツツアの実施」

【新】「中学校でのワークショップ (トークセッション) の実施」

○「とっとり県民の日」の行事

◇社会教育関係者等の人材育成

- ▶ 学校教育と社会教育の連携・協働等を推進するため、人材の育成を行う

【新】「鳥取県地域づくり体ナリ」の養成

- ・地域人材、公民館職員、学校関係者 等
- 【継】「公民館職員研修、社会教育担当者研修 等」

◇自然体験活動の推進

- ▶ 青少年社会教育施設等での自然体験活動を通じて、子どもの自己肯定感を醸成、ふるさとへの理解を深める
- (星空観測、キャンプ、登山、スキー、自然観察等)

地域とともにある学 校

学校、保護者、地域住民等が、教育の当事者となることで、責任感を持ち、積極的に子供への教育に携わる。

・学校運営や教育活動へ参画することで、子どもたちの学びや体験を充実させるとともに、大人の自己有用感や生きがいにも繋げる。

・顔が見える関係となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営を推進する。

社会に開かれた教 育

地域学校協働活動

コミュニティ・スクール

体的推進

・地域住民、学生、保護者、PTA、NPO法人、民間企業、各種団体の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える。

・地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える。

学 校 を 核 と し た り 地 域 を 核 と し た り

「キャリア・パスポート」(児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等)を軸に、「人(つながり・絆)」、「物(自然・文化・歴史)」、「仕事(金)」を系統的につなぐ

生き方を確立する

ふるさとに誇りを持ち、これからの鳥取の未来を考え、貢献しようとする心を養い、これからの鳥取における自分の役割や将来の生き方を確立する

キャリア教育の視点

→ 卒業 (進学) の際に「とっとり学生登録」への登録

【目標】100%

◇特別支援学校高等部

◆全県立特別支援学校において、個別の教育支援計画を作成し、障がい の状況等に応じたキャリア教育を実施

【実践例】

- ・就労促進セミナー、福祉セミナーの実施 (各圏域)
- ・鳥取県特別支援学校技能検定の実施

夢や希望に向かって果敢にチャレンジし、将来ふるさと鳥取県に貢献する気概を持つ生徒に成長

◇高等学校

◆全県立高校でキャリア教育全体計画に基づいた事業を実施

→ キャリア教育充実事業を実施し、生徒の社会的自立に必要な能力等を育成

【内容】 社会人講師による講演、地元事業所訪問、地域貢献活動、インターンシップ等の実施

<普通学科>

○総合的な学習 (探究) の時間、特別活動等

【実践例】 ・探究型プロジェクト学習

○課題研究、関連する教科・科目等

【実践例】

・テクノボランティア (工業科目の技術

技能を生かした地域貢献活動)

・地域食材の活用と商品

<総合学科>

○総合的な学習 (探究) の時間、特別活動等

【実践例】

・青谷学 (青谷の探究学習)

・米×米プロジェクト

(米子市中心市街地活性化探究学習)

高等学校・特別支援学校高等部：各学校で様々な取組を実施

小・中学校：各市町村で独自の取組を実施
特別支援学校小学校部：各学校で様々な取組を実施

※特別支援学校 (幼稚部・小学部・中学部) においては、幼児教育施設、小学校及び中学校に準じた取組を各学校で行うとともに、児童生徒の居住地及び学校周辺において「交流及び共同学習」を実施している。